

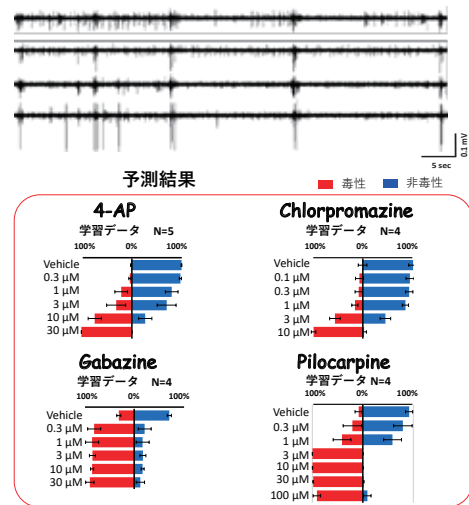
# 企業ニーズを解決するAI開発

## 研究内容

AIシーズ技術を基に、企業様のニーズを解決するAIを創造するAIR研究所を運営しています。シーズ技術の例として、波形データのAI解析があります。波形の周波数成分の特性を画像化し、AIに学習させることで、周波数成分の特徴に基づいたAIによる判定が実現します。波形データの種類に制限はなく、またこの技術は、画像の特徴を抽出する際にも有効になります。従って、画像全般に拡張可能な技術です。実際の応用例としては、脳神経活動(波形データ)に基づく、医薬品や化学物質の毒性や効果をAIで解析しています。

## 地域・産学連携の可能性

企業様が抱える課題をAIにて解決できる可能性があり、企業様の個別ニーズの探索を行っております。個別ニーズに最適な前処理を検討し、解決を図ります。企業種に限定はございませんので、ご相談頂ければ幸いです。



神経活動から化合物の毒性を予測するAI

このテーマに関連する  
東北SDGs研究実践拠点

防災・減災技術研究拠点  
医工学・健康福祉研究拠点  
地域・地場産業振興研究拠点

このテーマに関連する  
プロジェクト研究所

AiR 研究所

このテーマに関連するSDGs開発目標



工学部 電気電子工学科 神経医工学

鈴木 郁郎 SUZUKI Ikuro

教授、AIR 研究所 所長 博士 (工学)

執筆論文

"Can We Panelize Seizure?" Toxicological Sciences, in press

